

お国自慢



メタウォーター(株)

周南市

自然環境と調和し、 環境保全に万全を期した施設

…周南市リサイクルプラザ「ペガサス」…

1. はじめに

周南市は、平成15年4月21日に、徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町が合併し誕生した市です。「県勢発展をリードする『元気発信都市』の創造」を基本目標として、あらたなまちづくりを目指して歩んできております。

山口県の東南部に位置する周南市は、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を臨み、その海岸線に沿って大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が続いています。

北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後には広大な農山村地帯が散在しています。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。気候的に周防山地以南は温暖少雨の瀬戸内海型、その以北は内陸型となっており、総面積約660km²、人口約15万人の市です。



2. 施設の紹介

周南市リサイクルプラザは、平成23年4月にメタウォーター(株) 設計・施工により竣工しました。

平成26年2月1日からは、「周南市リサイクルプラザ 長期包括的運転管理業務」を受注し、メタウォーターと地元企業である周南総合リサイクル(株)、(株)銭谷ブルトナーの3社JVとして12年2か月の長期包括業務をスタートしています。

長期包括業務をスタートするにあたり、施設の情報およびデータを共有化し、包括化・広域化の推進を支援する高度なソリューションを提供する最新ICT技術を活用したWBC(ウォーター・ビジネス・クラウド)の導入も開始しました。

◆施設の特長

(1)資源循環型社会を推進するための施設

収集された資源ごみを機械選別や手選別により選別し、圧縮梱包等の中間処理を行います。また、燃やせないごみ・不燃性粗大ごみの中からも資源物を回収し、再資源化を図れる施設となっています。

(2)環境にやさしい施設

・周辺環境との調和を考慮し、景観にも配慮された施設です。

・処理時に発生する臭気は外部に漏れないよう

サイクロン・集じん機および脱臭装置等で除去されます。

- ・プラント排水（床洗浄廃水や洗車排水）を処理してトイレの洗浄水等に再利用しています。
- ・太陽光発電と風力発電により省エネとCO₂削減に貢献しています。

(3)気軽に利用しやすい施設

ごみの減量化・リサイクル意識の高揚を図るための啓発設備（環境館）を備えた施設です。



周南市リサイクルプラザ全景
(後は周南コンビナート群)

3. 施設の概要

施設名：周南市リサイクルプラザ「ペガサス」

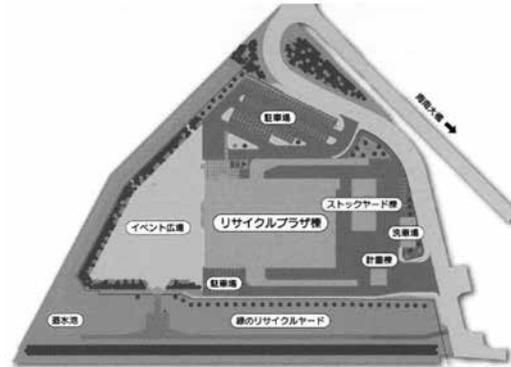
設計・施工：メタウォーター（株）

施工監理：（株）東和テクノロジー

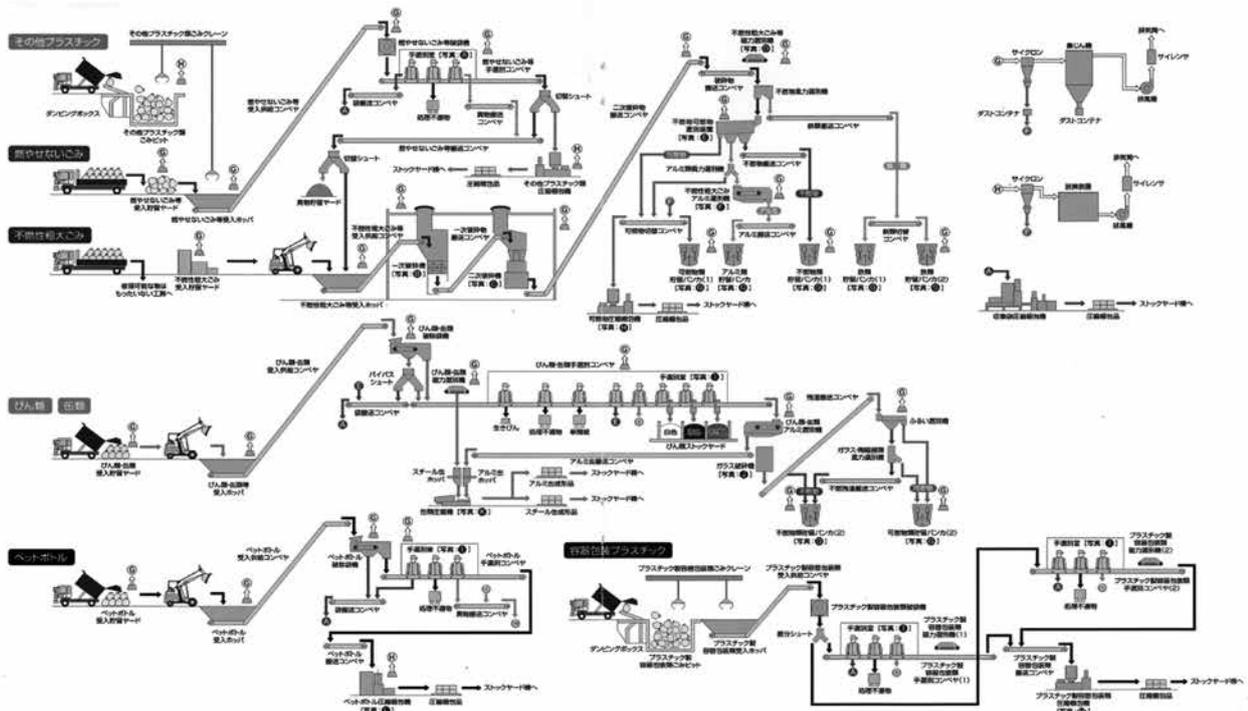
所在地：山口県周南市臨海町5番地

処理能力：80t/日

○燃やせないごみ	24t/日
○不燃性粗大ごみ	1t/日
○びん類・缶類	14t/日
○ペットボトル	2t/日
○容器包装プラスチック	25t/日
○その他プラスチック	11t/日
○可燃性粗大ごみ	1t/日
○ガラス陶器類	2t/日



施設配置図



処理フローシート

周南市の紹介

◇日本六大工場夜景都市

周南コンビナートは、「日本六大工場夜景都市」の一つに認定されています。

平成23年2月、神奈川県川崎市において第1回全国工場夜景サミットが開催され、工場夜景観光を核とした地域活性化を図ろうとする北海道室蘭市、神奈川県川崎市、三重県四日市市、福岡県北九州市の4地域が共に連携し、「日本四大工場夜景」を宣言しました。

その後、平成24年に周南市が、また平成26年10月に開催された第5回全国工場夜景サミット in 周南で兵庫県尼崎市が加わり、「日本六大工場夜景」として共同宣言しています。

周南市リサイクルプラザは、周南コンビナートの一角にあり、屋上からの眺めは絶景です。



周南コンビナート 夜景
周南市リサイクルプラザ屋上より

◇周南冬のツリーまつり

毎年11月中頃～1月中頃まで開催される周南冬のツリーまつりは、JR徳山駅周辺を中心市街地がLED電球60万個で飾られ、多くの人でにぎわいます。2013年には日本夜景遺産にも認定されました。

開催期間中は、各企業とも連携してコンビナート企業の全点灯も実施されます。

また、青空公園で開催される、大型キャンドルツリーとドラマチックな光の演出を展開する「天空のライティングフラワーショー」が最大

の見どころとなっています。



青空公園 大型キャンドルツリー

◇回天記念館

JR徳山駅から徒歩2分の徳山港から、フェリーに乗って約45分(高速船18分)の天津島・馬島港に渡ると、徒歩10分で回天記念館があります。

太平洋戦争末期、“天を回らし、戦局を逆転させる”という願いを込めて、人間魚雷「回天」が誕生しました。

これは、魚雷に大量の爆薬を搭載し、隊員自らが操縦して敵艦に体当たりするという特攻兵器で、隊員の訓練基地が置かれた天津島には、全国から20歳前後の精鋭たちが集まり、毎日厳しい訓練を繰り返していました。そして、窮地に立つ祖国を守るために、多くの若者がここから出撃していきました。

回天記念館では、祖国のために自らの命をかけた若者たちの史実が記されています。



徳山港『人間魚雷「回天」実物大模型』